

「であいの里蜷川」がオープンしました

四月二十九日、蜷川地区の宿泊施設「であいの里蜷川」開業式典が、同施設（旧蜷川小学校）で行われました。

蜷川地区では、平成十四年の高知国体で県外選手たちの宿泊やまかないをボランティアで行ったことをきっかけに、国体以降も旧蜷川小学校を利用した体験合宿の受け入れなどさまざまな活動を続けてきました。

これまで、小学校児童などの体験合宿に限った受け入れを行ってきましたが、念願であった旅館業法に基づく運営ができるようになりました。



開業式典では地元物産品の販売やイチゴ狩り体験も行われました。

同地区の金子寿人区長は、「これから、老若男女を問わず個人から団体までたくさんの方に利用してもらいたいです。」と話してくれました。

宿泊だけでなく、季節によって地元にあるものをふんだんに利用した体験メニューも考えられており、これから夏に向けて町内外からの宿泊予約に期待いっぱい蜷川地区のみなさんでした。



学校の教室が宿泊できるように改装されています。

「であいの里蜷川」の運営は地元が主体になって行っています。お問い合わせや予約などは☎44-2010までお願いします。

このコーナーでは、町内の子どもたちをお家の方からのメッセージといっしょに紹介しています。

くろしおっ子を紹介します！



漆原 希ちゃん
〈平成15年7月30日生まれ〉
いつも笑っていてね。



金子 一花ちゃん
〈平成16年1月22日生まれ〉
優しい女の子になってネ



西川 柚ちゃん
〈平成16年3月8日生まれ〉
いつも笑顔で!!



山中 涼乃心くん
〈平成15年11月18日生まれ〉
元気で大きくなってネ。



松岡 琉成くん
〈平成18年8月4日生まれ〉



松岡 胡桃ちゃん
〈平成16年3月30日生まれ〉
きょうだい仲よく元気でネ。



朝日 花音ちゃん
〈平成15年9月23日生まれ〉
これからも元気で大きくなってね!



谷崎 翔音ちゃん
〈平成16年1月22日生まれ〉
元気でスクスク大きくなってね。

編集子
六月になると、川の水も随分とぬるみ、そろそろ子どもたちが水辺に集いはじめるところです。
子どものころ、薄暗くなるまで川で遊んでいると、「エンコウ(河童)が出てくるけんはよ帰らないかん。」とよく脅されたものでした。
旧佐賀町老人クラブ連合会が編集した『さがが谷昔ばなし』を久しぶりに読んでみると、その中に「エンコウと相撲をとった話」が出てきました。ある人が川沿いを歩いていると、突然四、五歳の幼児が現れ、「相撲をとろう。」と望んでくる。「何の小坊主め…」と相手になると、その体はうなぎのようにすべり、なかなか手ごわいということでした。
また、旧大方町老人クラブが発行した『大方よもやまばなし』をめくってみると、やはりエンコウの話が出てきます。昔の川にはエンコウが潜んでいたのでしょうか。
この二冊の本を読んでみると、その他にも、大うなぎやタヌキなどもずいぶん活躍していたようですね。
(ム)